

耐久高等学校定時制

実施日時	令和3年 11月 5日(金)
参加者	生徒15名、教職員9名、計24名
実施内容	「地震・津波についての基礎講座」、災害時の暖のとり方や飢えを凌ぐ方法を学ぶ

ねらい

近い将来起こると予測される、南海トラフ地震や津波などの災害から命を守るための方策、及び災害時に暖をとり飢えを凌ぐ方法を学ぶ。

主なプログラム

- 1 「地震・津波についての基礎講座」
- 2 災害時におけるメタルマッチを使用した暖のとり方、及び非常時の調理方法を体験する。

概要

- 1 有田振興局地域振興部 総務県民課の方にご来校いただき、「出張！減災教室 地震・津波についての基礎講座」を実施した。
- 2 本校教員の指導により、災害時の暖のとり方として、グラウンドでメタルマッチを使用するの火おこし方法、及び即席めんの調理方法を学んだ。

参加者感想文

- ・「地震・津波のメカニズムについて知ることができた。地震・津波の際の避難方法などについて詳しく学べて良かった。」
- ・「初めてのメタルマッチでなかなか火がつかなかった。着火できた時は火の有り難さがよく分かった。」



受講の様子

成果と課題

【成果】

「地震・津波についての基礎講座」を受講して、災害から命を守るための多くの方策を学ぶことができた。県内各地の津波の到達時間、想定される最大津波高や浸水の深さ、また平成23年紀伊半島大水害の被害状況なども詳しく知ることができた。写真や映像を見ることにより、生徒たちは身近なこととしてとらえることができたようである。そして、家の中では地震に備えて寝室に物を置かない、非常持出品や備蓄品を用意しておくこと等、災害に備えることの重要性を知ることができた。

続いてグラウンドに移動し、メタルマッチを使用するの着火体験を行った。生徒にとって初めての体験だったが、避難場所が屋内とは限らないので、想定外の災害時に生かすべく貴重な経験となった。

また、メタルマッチで火を起こし、直火で即席めんを調理したことは、災害時の空腹を凌ぐためにも役立つ経験であった。



メタルマッチを使用するの着火体験の様子

【課題】

- ・今回は実施しなかったが、シェイクアウト訓練等常に行う必要がある。
- ・着火体験のように、想定外を考えた訓練については、生徒への意識付けが課題である。